


県名 : 九州ブロック  
 報告日 : 3月23日  
 報告者 : 馬場

1. 都道府県青年部の活動報告

都道府県名	年月日	活動報告
宮崎県	2月 3月5日	会員各社に不織布マスク、消毒液詰を配付(全構協助成金事業) 第5回 幹事会 ※1月~2月 県独自の緊急事態宣言発令の為、予定していた活動を自粛しました
沖縄県	1月19日 2月18日 3月9日	青年部営業部会(受注物件及び向上山積み状況報告など) 青年部営業部会(受注物件及び向上山積み状況報告など) 青年部営業部会(受注物件及び向上山積み状況報告など)
長崎県	1月29日	令和2年度長崎県青年部第1回例会及び工場見学 ※(株)境鉄工所-増築事務所及び工場見学会   
	2月18日 3月26日	令和2年度長崎県青年部臨時三役会 令和2年度長崎県青年部第1回役員会-予定
大分県	3月11日	青年部三役会 溶接ヒューム勉強会 
鹿児島県	2月9日 3月	青年部役員会 オリジナルマスクの製作、配布 (全構協青年部助成金事業) 
佐賀県	2月1日 3月1日	青年部会員所属事業所に新型コロナ対策としてマスクとアルコール消毒液を配布。 ※全構協補助金事業 第3回役員会を開催(WEB会議)。 今年度の残りのスケジュール等を確認。 
福岡県	3月4日	溶接ヒュームに係る改正法令の説明会を親会との共催にてオリエンタルホテル博多で開催した。 参加費を厚生労働省補助事業により補填し、無料での開催となった。 中央労働災害防止協会より特化則改正の主な改正点4項目について説明が行われた 説明会の最後には質疑応答が個別で行われた。 尚、説明会前にコロナ禍で事業開催ができず先延ばしになっていた、前々期に青年部卒業した2社、今期より新局長となった事務局長への記念品贈呈が行われた。

2. ブロックの活動報告

年月日	内容
1月20日 3月3日	九州ブロック WEB会議 九州ブロック第5回役員会(WEB会議) 

3. 構造設計者との交流活動の状況報告(各府県で実績があれば記入願います。)

年月日	内 容
	無し

4. その他(近況報告・市況等)

府県名	内 容
宮崎県	緊急事態宣言解除後、久方ぶりに幹事全員参加での幹事会を行いました但各社共に手持工事量稼働率100%を超えない状況があるようです。鋼材単価上昇の影響からか見積も少ないです。
沖縄県	今年に入り公共・民間工事の見積もり件数もかなり減り、夏以降の工事件数がかなり減ってこないか懸念している。県内各FABの状況として50~60%の稼働状況もあり、かなり物件が減っている感じ。
長崎県	Hグレード:3~5月にかけて山が低い、夏から山が高くなる予定 M、Rグレード:年末から変わらず、4月くらいまでは手持ちが少ない、5月くらいから夏、秋にかけては山が高くなりそう 駅ビル工期の前倒しや大規模物件の増築等も控えているので、全体の活性化を期待している。
大分県	春までは仕事が少ないが、夏以降は仕事量は増える見込み。 コロナの影響により、計画物件の延期や図面の決まりも悪くなっている。 鋼材、ボルト、溶材と値上げ傾向にあるので、原価をよく把握し安値受注はしないようにお願いしたい
鹿児島県	全体的に県内仕事量減少傾向、4月以降持ち直しか。 鋼材値上がり傾向の中、仕事減少の危機感がある。
佐賀県	鋼材高騰と引き合い物件の減少で苦労されているところが多い模様。
福岡県	現在コロナは終息に向かっているように見え、街中の人出や会社への来客等が徐々に増えてきているが青年部の活動としては慎重に検討していく考え。  市況は、現状工場の山は低いが、夏以降は徐々に工事量が増える見込み。 物件数の割合で言えば大型物件が目立ち、中小物件の量が非常に少ない状況。 会社間で手持ち工事量のバラつきも大きい。  鋼材の動向は価格は依然上げ基調で、ロールの遅れ等の話を聞くようになっている。 早期手配を行って手配漏れを防ぐ必要がある。  今は我慢の時と考え、適正受注を保持し、会員間での情報共有を積極的に行っていきたい。
※この報告書は全国配信しますの個人情報や誤報となるものの記載はお控えください。	